

複式学級授業におけるタブレットの活用例

1 導入時

(1) 前時の振り返り

- 前時の授業の終わりに板書を撮影しておき、それを見ながら前時の振り返りを行う。
- 学習アプリ等を活用し、既習内容のドリルを行う。

(2) 課題（問題）提示

- 事前に教師が作成した動画を視聴し、課題（問題）を把握する。

2 間接指導時

(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る学習

- 共通問題の解き方を動画にして、視聴しながら自主学習を行う。
- インターネットのサイトを活用し、シミュレーションを行う。

(2) 隙間時間の活用

- 学習アプリを活用し、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る。
- インターネットの学習サイトの問題を解く。

(3) 話し合い活動

- タブレットの画面に直接考えを書き込み、タブレットを持ち寄って考えを伝え合う。
- 発表する際のツールとして活用する。

3 直接指導時（まとめ）

(1) 考えの共有

- タブレットの画面一覧表示を活用して、考え方を比較・検討する。
- タブレットの画面を拡大表示して、説明する。

(2) まとめ

- 学習のまとめを行った板書をカメラで撮影し、次時の導入や以後の振り返りに活用できるようにする。

*** 45分間の授業全体でタブレットを活用するのではなく、どの場面で活用すると効果的なのかを考え、授業者が計画を立てて活用することが大切である。**